

V O Y A G E
G R O U P

2018年9月期第1四半期 決算説明資料

2018年 1月31日

東証一部：3688

- | | | |
|-----------|------------------------------|-------------|
| 01 | 2018年9月期第1四半期 連結決算の概要 | P.02 |
| 02 | 通期連結業績予想と進捗 | P.11 |
| 03 | 主要事業の概況 | P.16 |
| 04 | 参考資料 | P.31 |

	2017年9月期 第1四半期 (2016年10月-2016年12月)	2018年9月期 第1四半期 (2017年10月-2017年12月)	増減率 (対前年同四半期比)
売上高	65.7 億円	67.9 億円	+3.4 %
売上総利益	21.5 億円	20.4 億円	-5.3 %
営業利益	6.3 億円	4.1 億円	-34.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.4 億円	3.5 億円	-19.8 %

業績・利益

今期業績予想に対し、順調なスタート。投資先ファンドからの出資分配金や持分法適用関連会社VENTENY社の増資に伴う持分変動利益計上により当期純利益は3.5億円に。

アドプラットフォーム

デマンドサイドの売上が過去最高を更新。

ポイントメディア

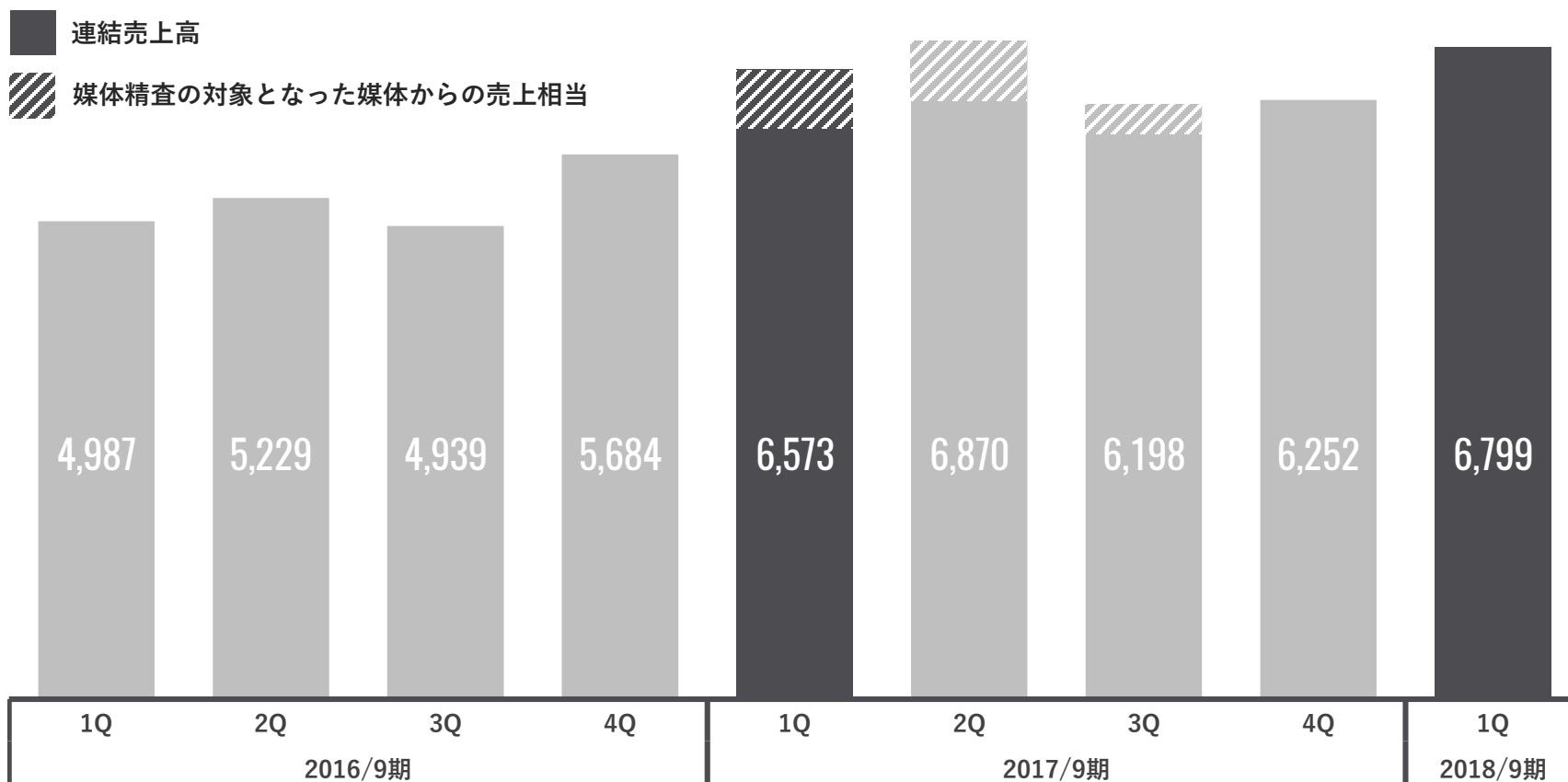
成長領域への人事異動を推進。3月末までに更に最適配置を進めていく。

株主還元

2017年10月25日取締役決議に基づき、自己株式351,000株を5億円で2018年1月24日に取得完了。2月に消却予定。

前期における媒体精査*の影響は受けつつも、アドプラットフォーム事業が好調に推移し、連結売上高は67.9億円に

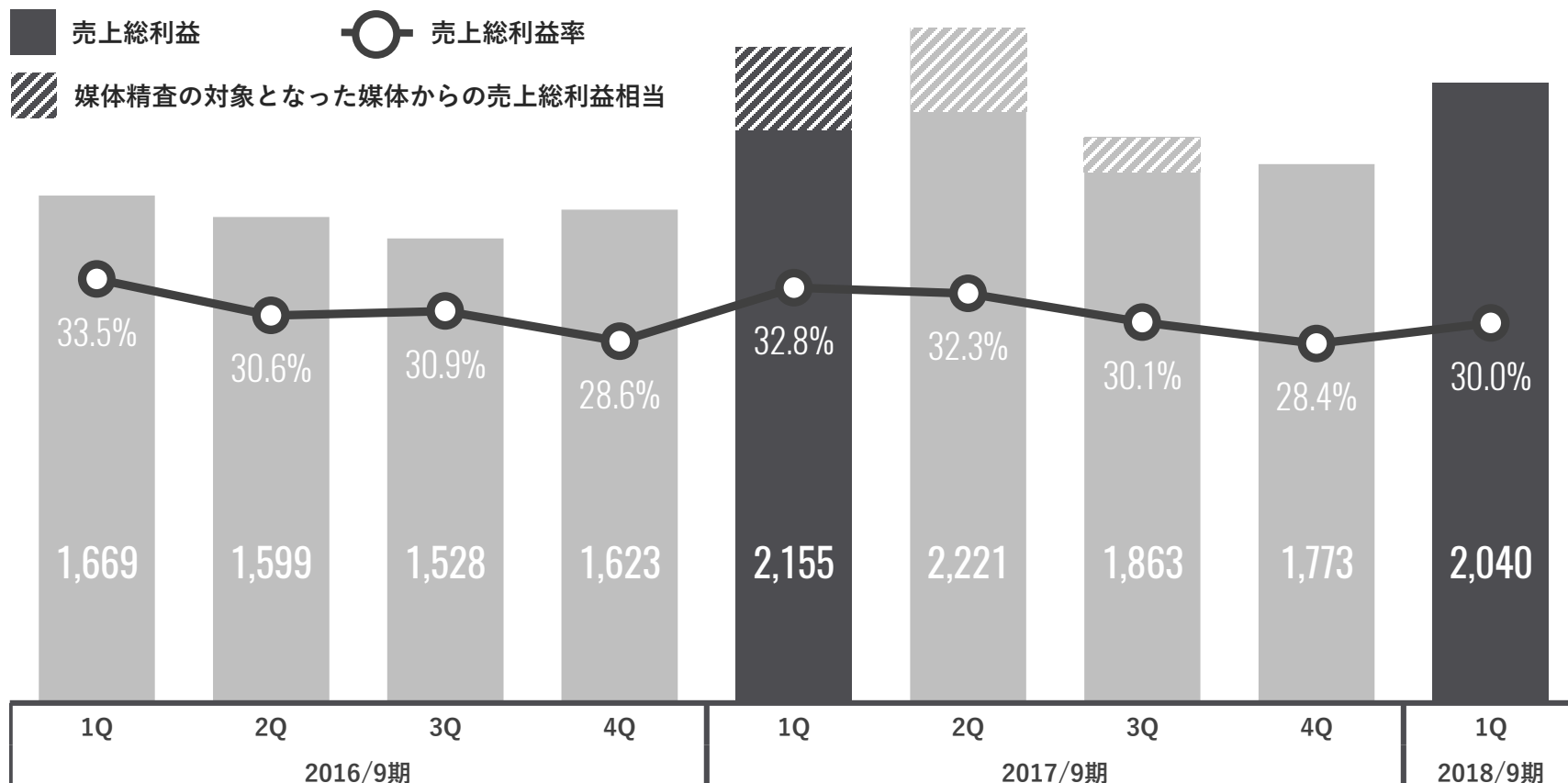
単位：百万円



* 健全なアドプラットフォームの構築を目的として、広告効果の低い一部の媒体との取引について見直しを実施。

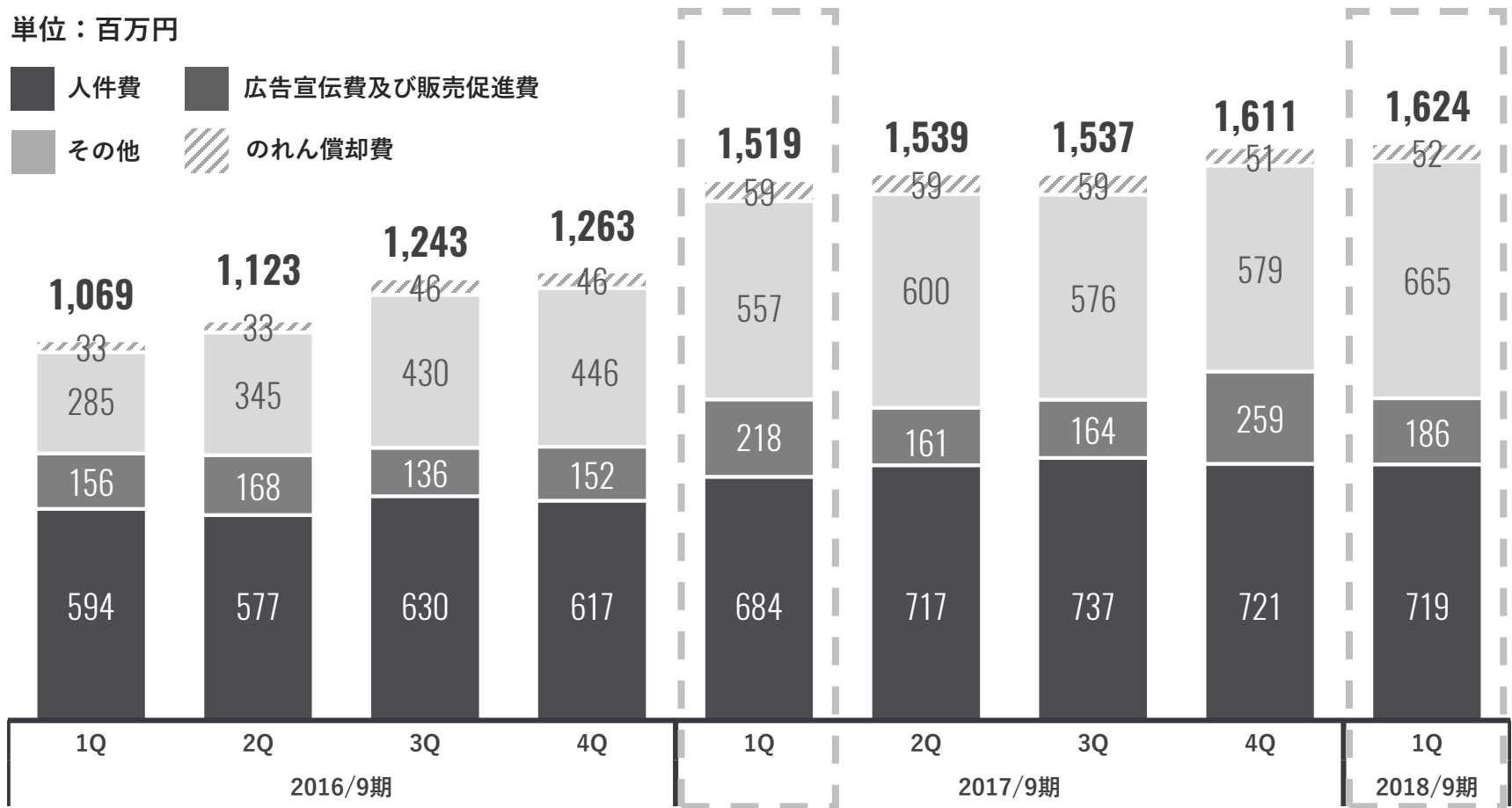
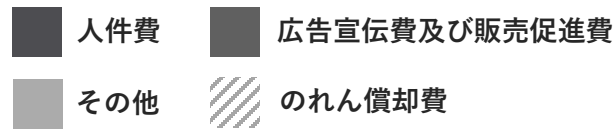
売上総利益率が前四半期比で改善され、30.0%となり、 連結売上総利益は20.4億円に

単位：百万円



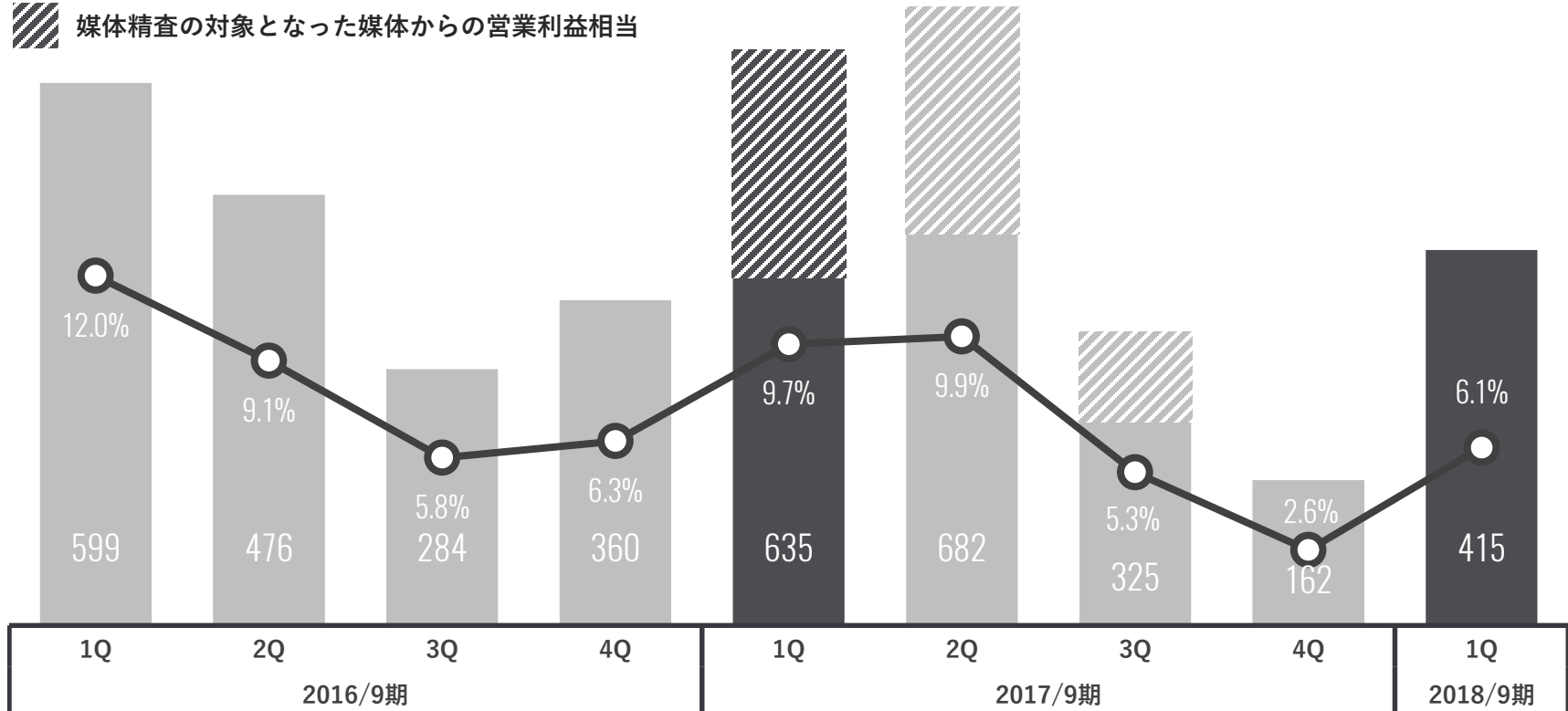
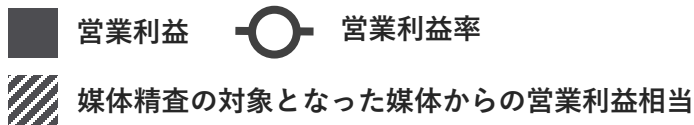
広告宣伝費が計画を下回り、第2四半期以降へズレ込む

単位：百万円



前期における媒体精査影響を考慮すると、前年同四半期比では同水準のスタート

単位：百万円



(単位：百万円)	2017年9月期第1四半期	2018年9月期第1四半期	前年同四半期比
売上高	6,573	6,799	+3.4%
売上総利益	2,155	2,040	-5.3%
販売管理費	1,519	1,624	+6.9%
営業利益	635	415	-34.6%
営業外収益	85	137 *①	+61.7%
営業外費用	11	23	+104.3%
経常利益	709	530	-25.3%
特別利益	0	89 *②	-
特別損失	14	48 *③	+230.5%
税金等調整前 当期純利益	694	570	-17.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	440	353	-19.8%

*① 投資先ファンドからの出資分配金の受取(137百万円) *② うち持分法適用関連会社VENTENY社の持分変動に伴う利益(80百万円)

*③ うちSYNC GAMES社の段階取得に係る差損(36百万円)

連結貸借対照表

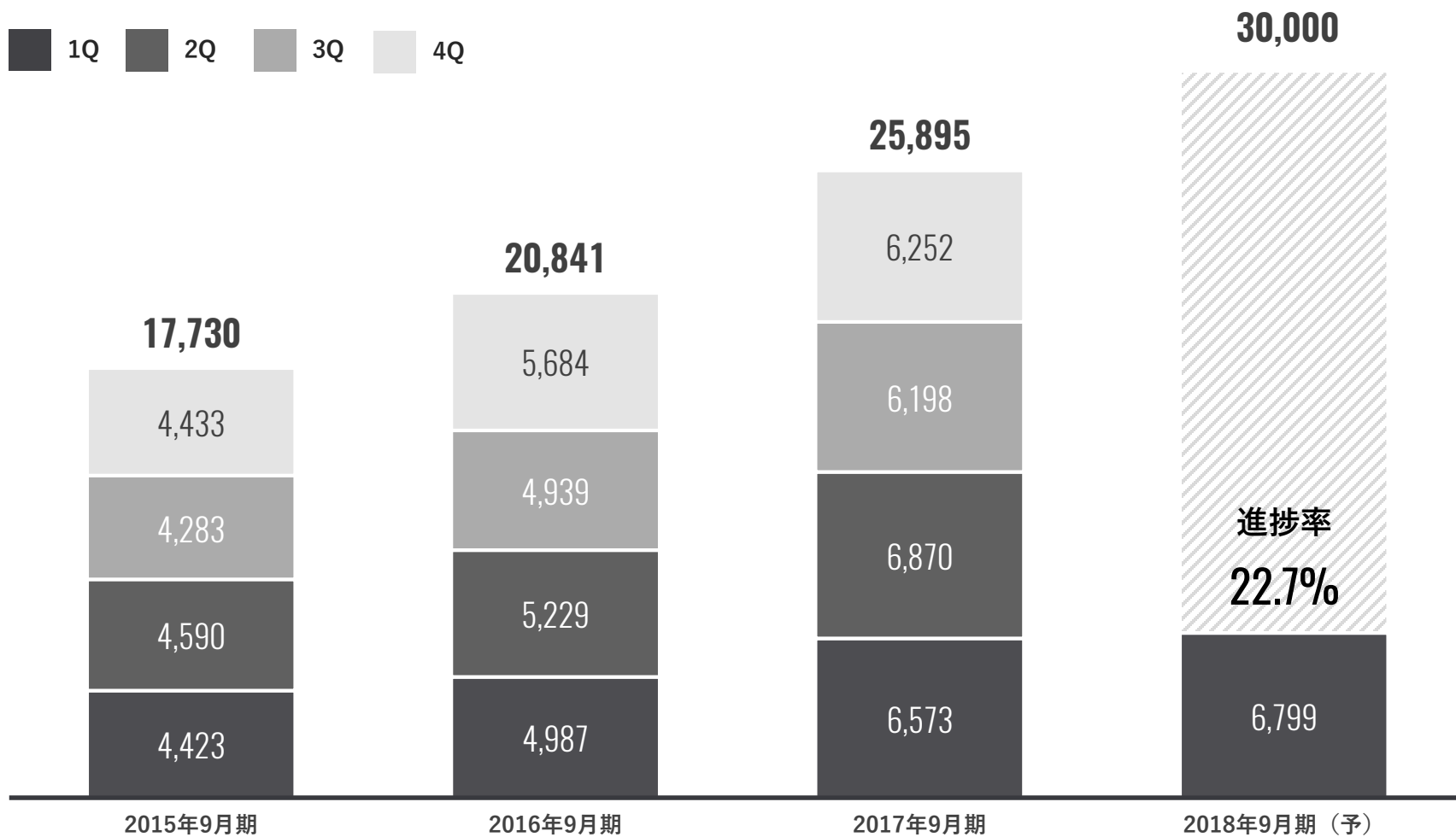
(単位：百万円)	2017年9月期 2017年9月末	2018年9月期 第1四半期 2017年12月末	前期末差額
流動資産	9,577	9,047	-530
うち現金 及び預金	5,445	4,321	-1,123
固定資産	6,198	6,018	-179
総資産	15,775	15,065	-710
流動負債	6,931	6,661	-270
うちポイント 引当金	2,751	2,780	+29
固定負債	730	626	-104
純資産	8,113	7,778	-335
負債及び純資産	15,775	15,065	-710

- | | | |
|-----------|-----------------------|-------------|
| 01 | 2018年9月期第1四半期 連結決算の概要 | P.02 |
| 02 | 通期連結業績予想と進捗 | P.11 |
| 03 | 主要事業の概況 | P.16 |
| 04 | 参考資料 | P.31 |

2018年9月期 連結売上高予想

単位：百万円

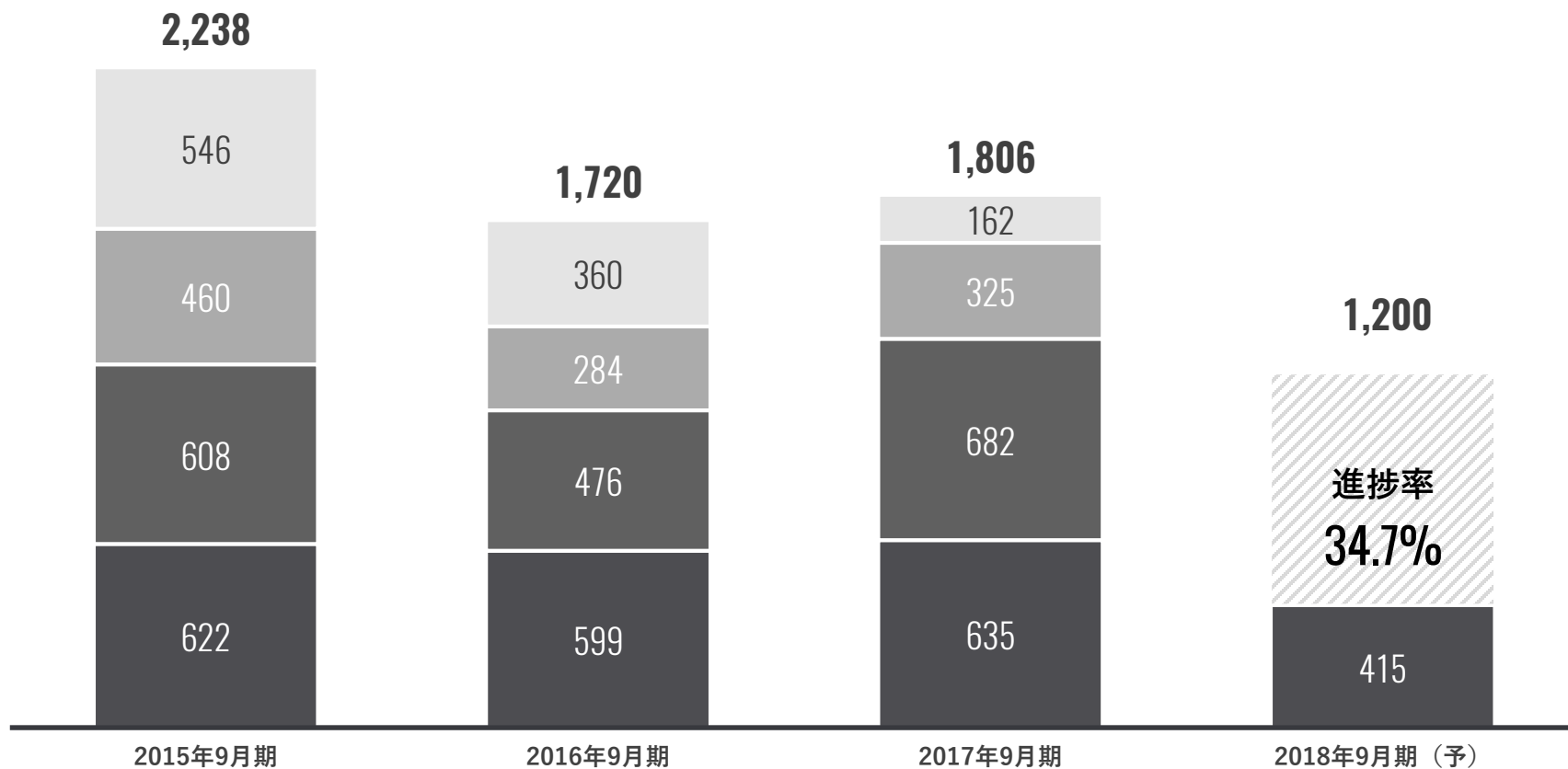
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



2018年9月期 連結営業利益予想

単位：百万円

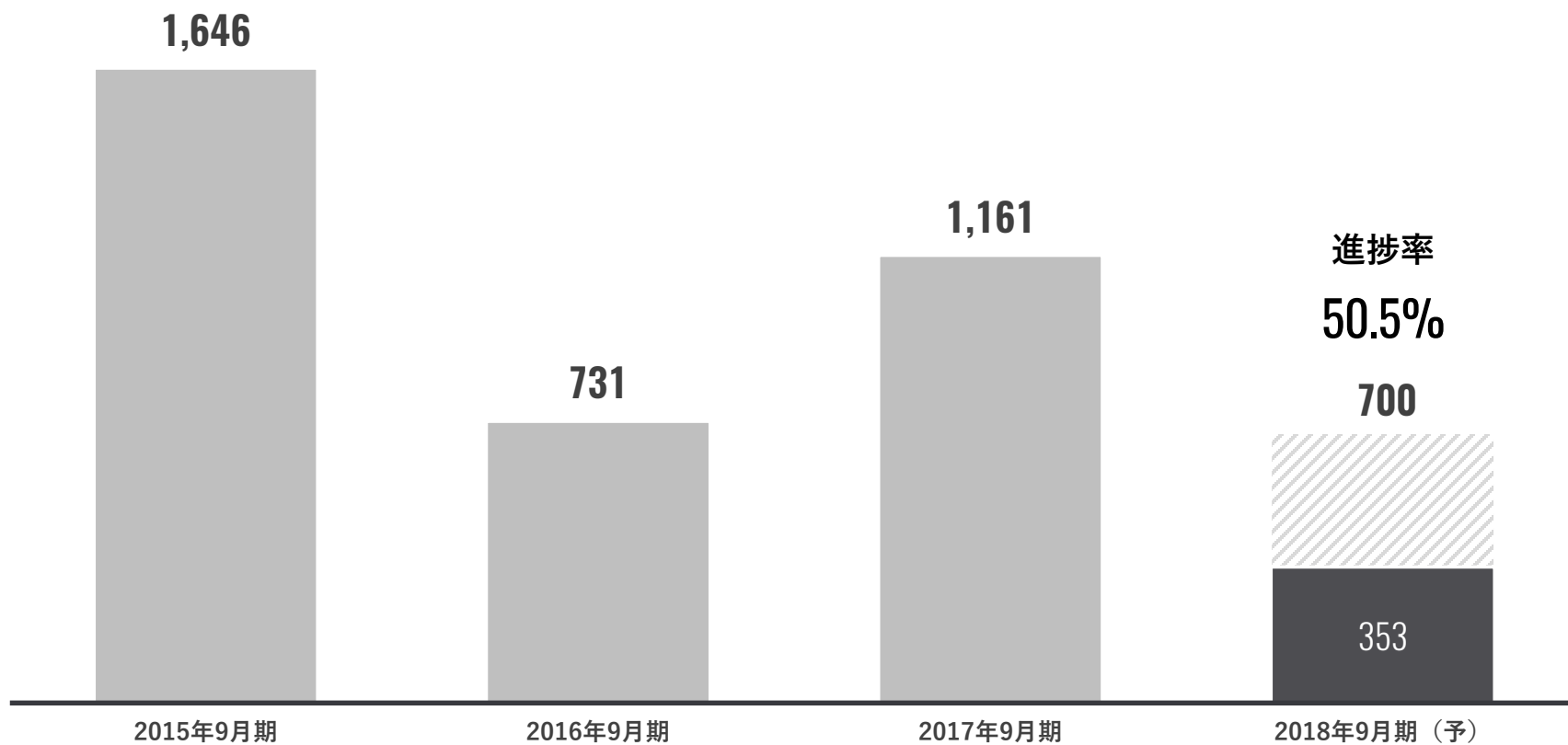
1Q 2Q 3Q 4Q



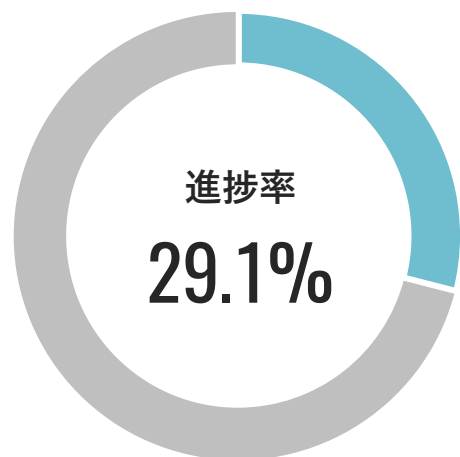
2018年9月期 連結当期純利益予想

単位：百万円

■ 1Q



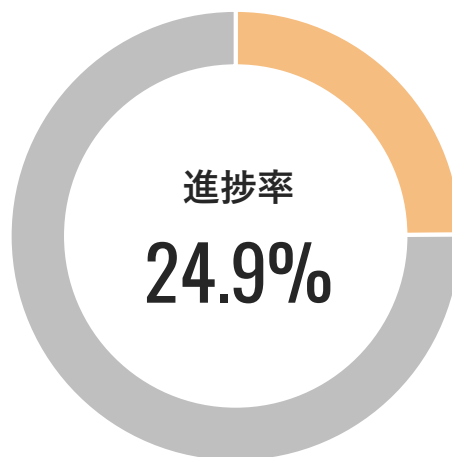
アドプラットフォーム事業



通期目標 **1,100** 百万円

1Q実績 **319** 百万円

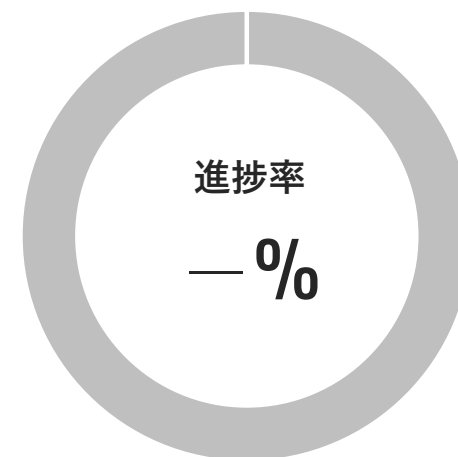
ポイントメディア事業



通期目標 **200** 百万円

1Q実績 **49** 百万円

インキュベーション事業



通期目標 **△100** 百万円

1Q実績 **46** 百万円

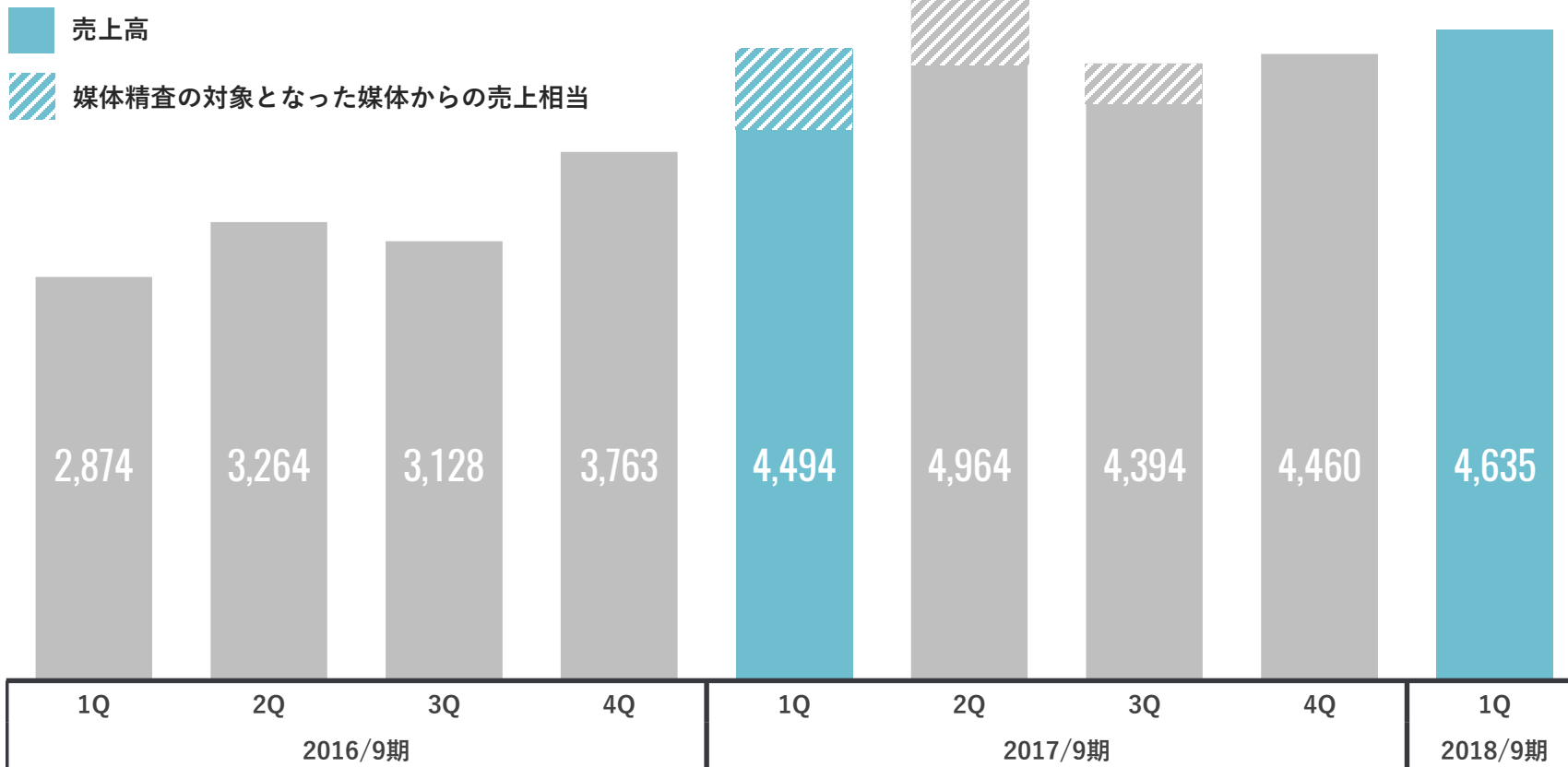
01	2018年9月期第1四半期 連結決算の概要	P.02
02	通期連結業績予想と進捗	P.11
03	主要事業の概況	P.16
04	参考資料	P.31

アドプラットフォーム事業

AD PLATFORM

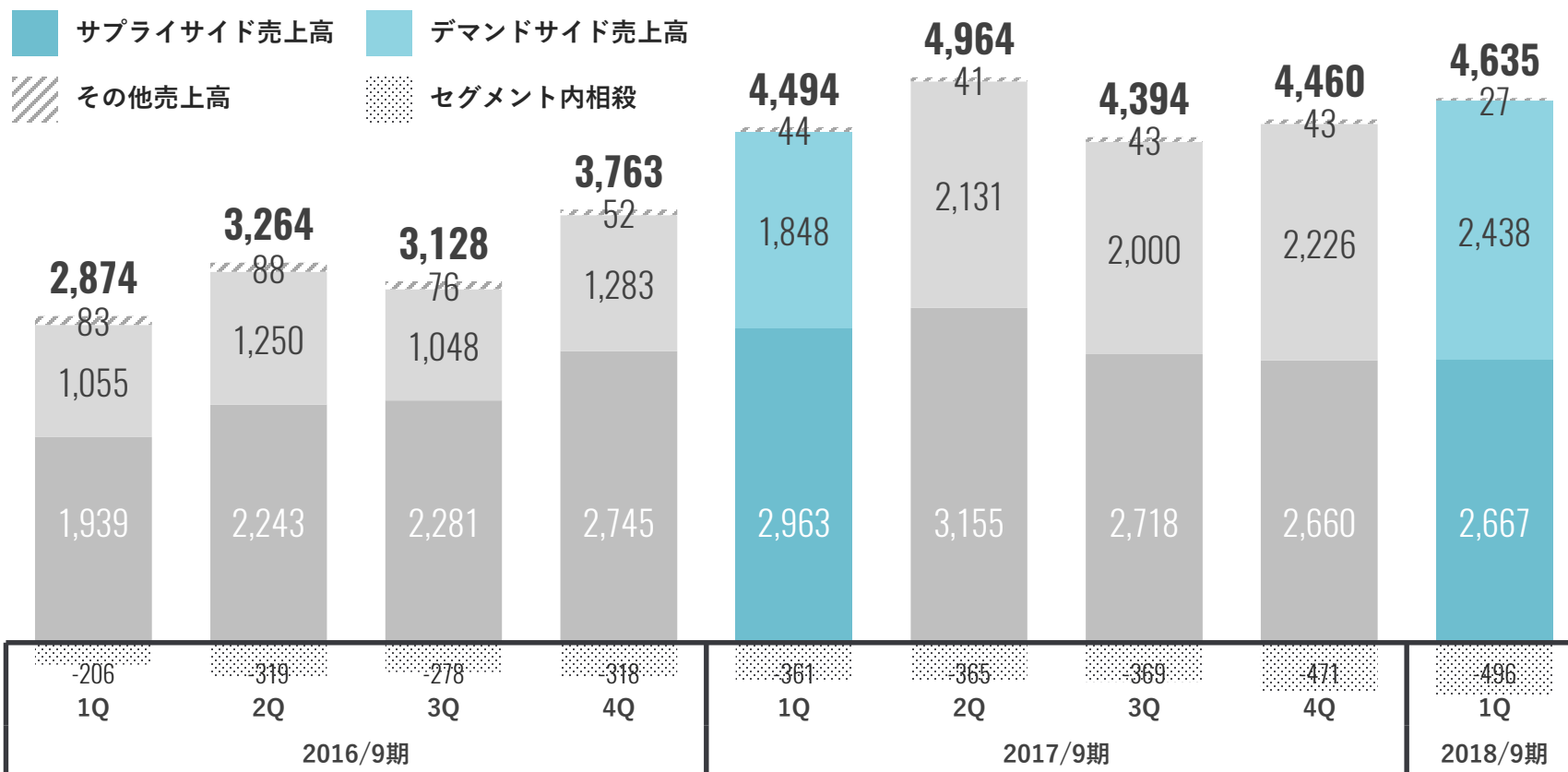
前期における媒体精査の影響が約6億円あったものの、デマンドサイドを中心に売上が伸長し3.1%の増収に

単位：百万円



デマンドサイドが順調に推移し、過去最高を更新。
サプライサイドではアプリメディアの開拓に注力。

単位：百万円

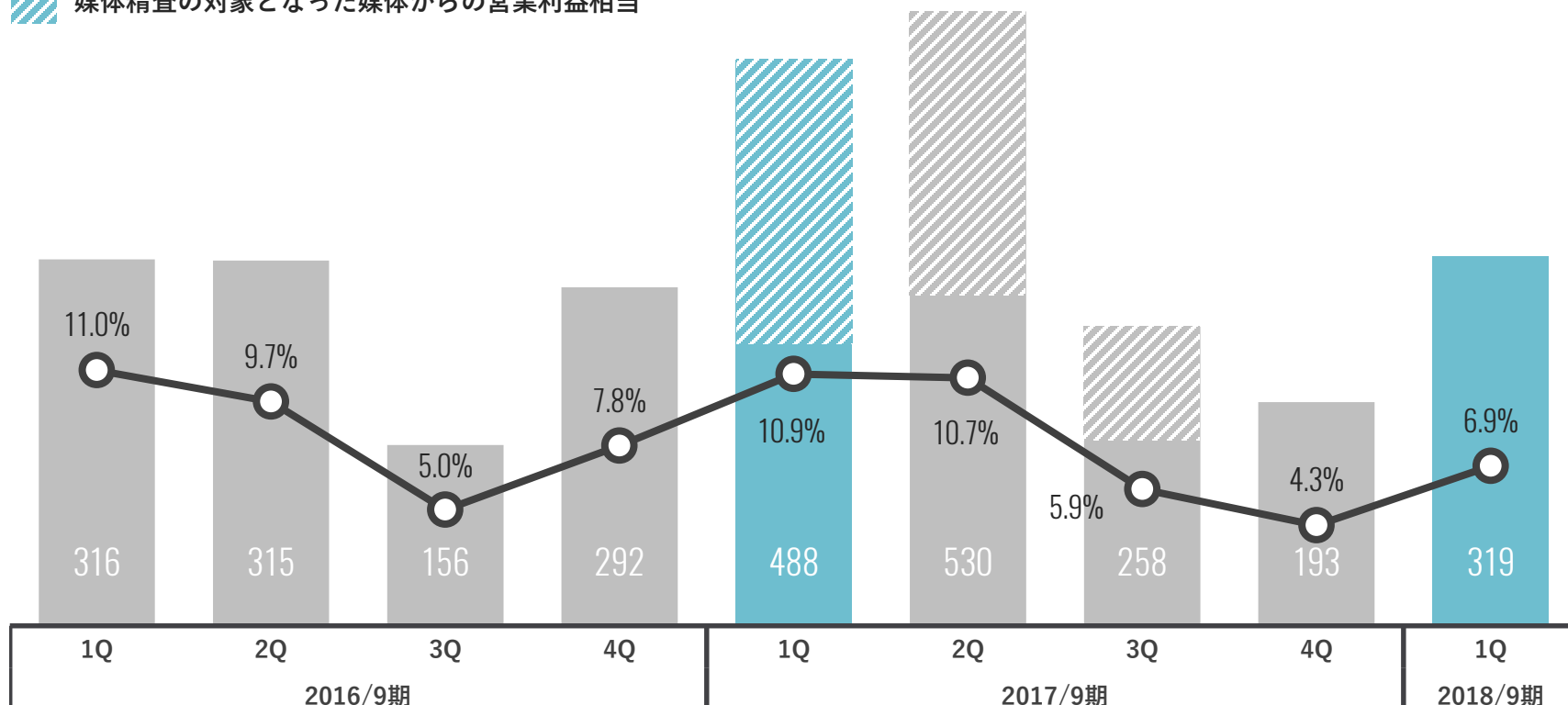
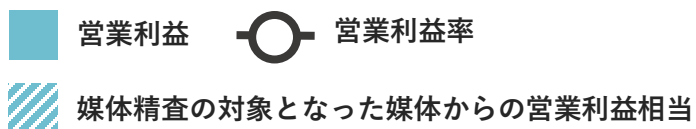


※サプライサイド売上高：「SSP fluct」及び「ゴールドスポットメディア」等の合算値。

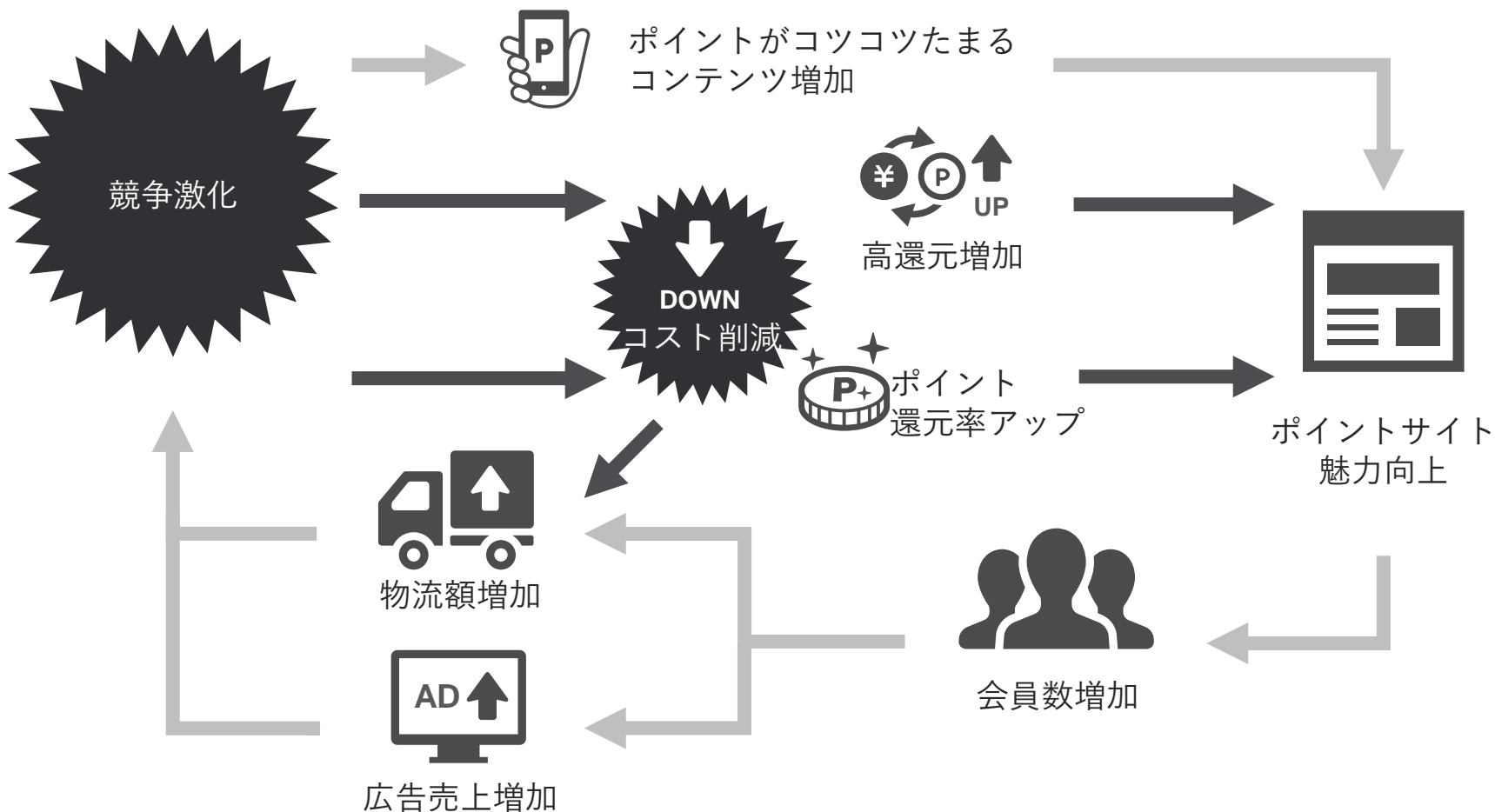
※デマンドサイド売上高：「Zucksアドネットワーク」、「Zucksアフィリエイト」、「CMerTV」及び「intelish」等の合算値。

前期における媒体精査影響を考慮すると、前年同四半期比で実質的には増益に

単位：百万円



まずは販管費の削減をしたうえで、コツコツ型から
コツコツ型+ガッツリ型のハイブリッドポイントサイトへ



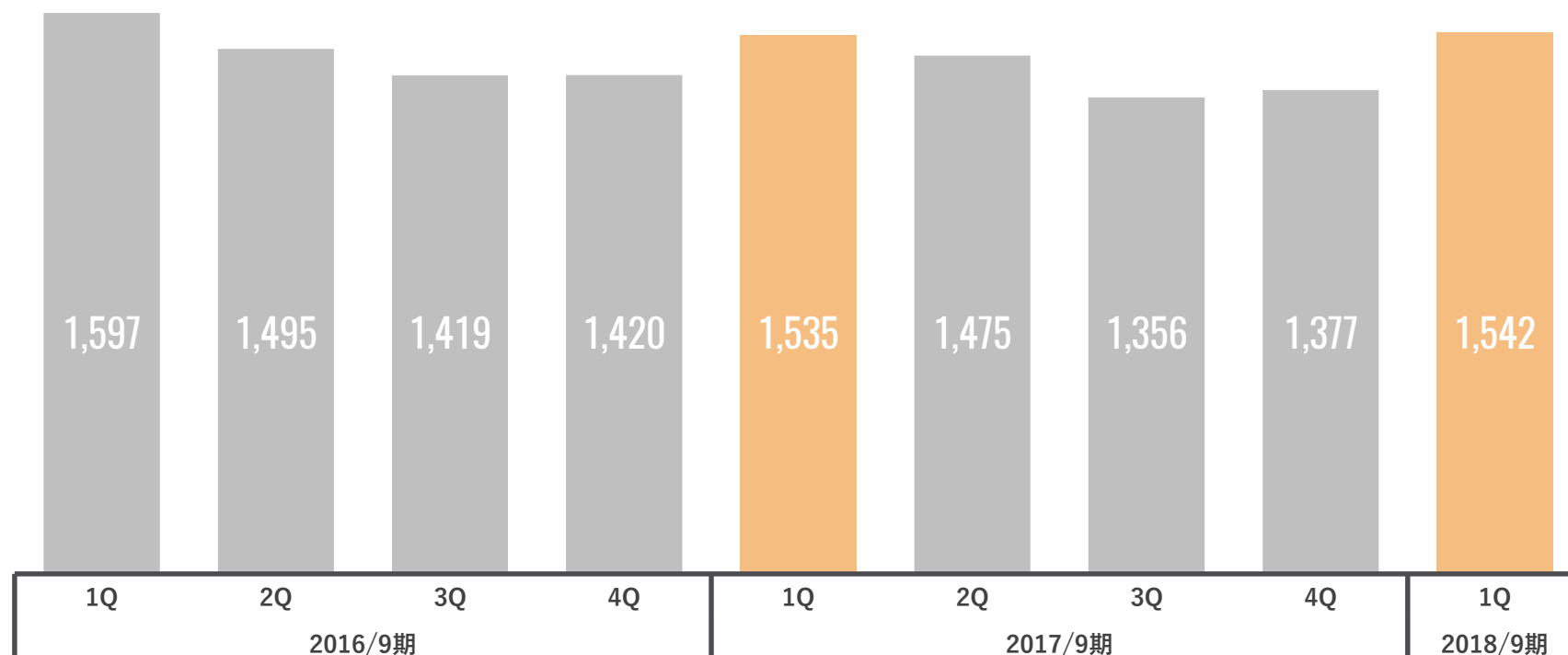
足元のコスト削減をすすめるとともにポイントサイトの魅力度を向上させるために先行して原価率を高め、中長期的な売上増及び利益回復を目指していく。

	2017年9月期 (実績)	施策	2018年9月期 (予想)	2020年9月期 (目標)
売上	57.4億円	ポイント還元率を高め、ポイントサイトの魅力向上。これによって原価率はあがるものの、売上増を目指す。	56億円	80億円
原価 (原価率)	34.0億円 (59.2%)		35.5億円 (63.4%)	56億円 (70.0%)
粗利	23.4億円		20.5億円	24億円
販管費	19.3億円	短期的には人件費を抑制し、コスト削減を行う。	18.5億円	19億円
営業利益	4.1億円		2億円	5億円

ポイント還元率アップなどのポイントサイトの魅力度向上を進めた結果、前年同四半期比で2年ぶりに増収へ

単位：百万円

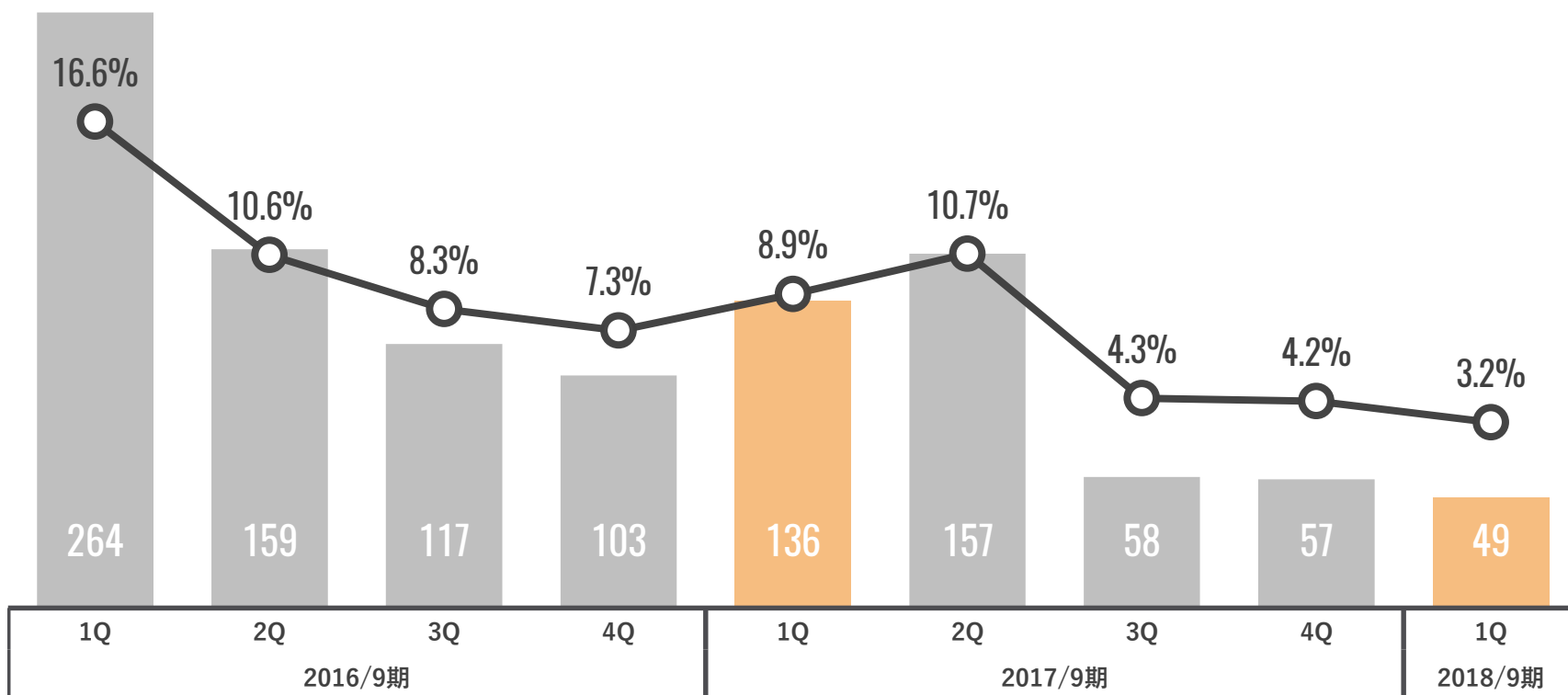
売上高



人件費などの削減により、販管費は若干削減されたものの、ポイント還元率を高めたため原価率が上昇し減益に

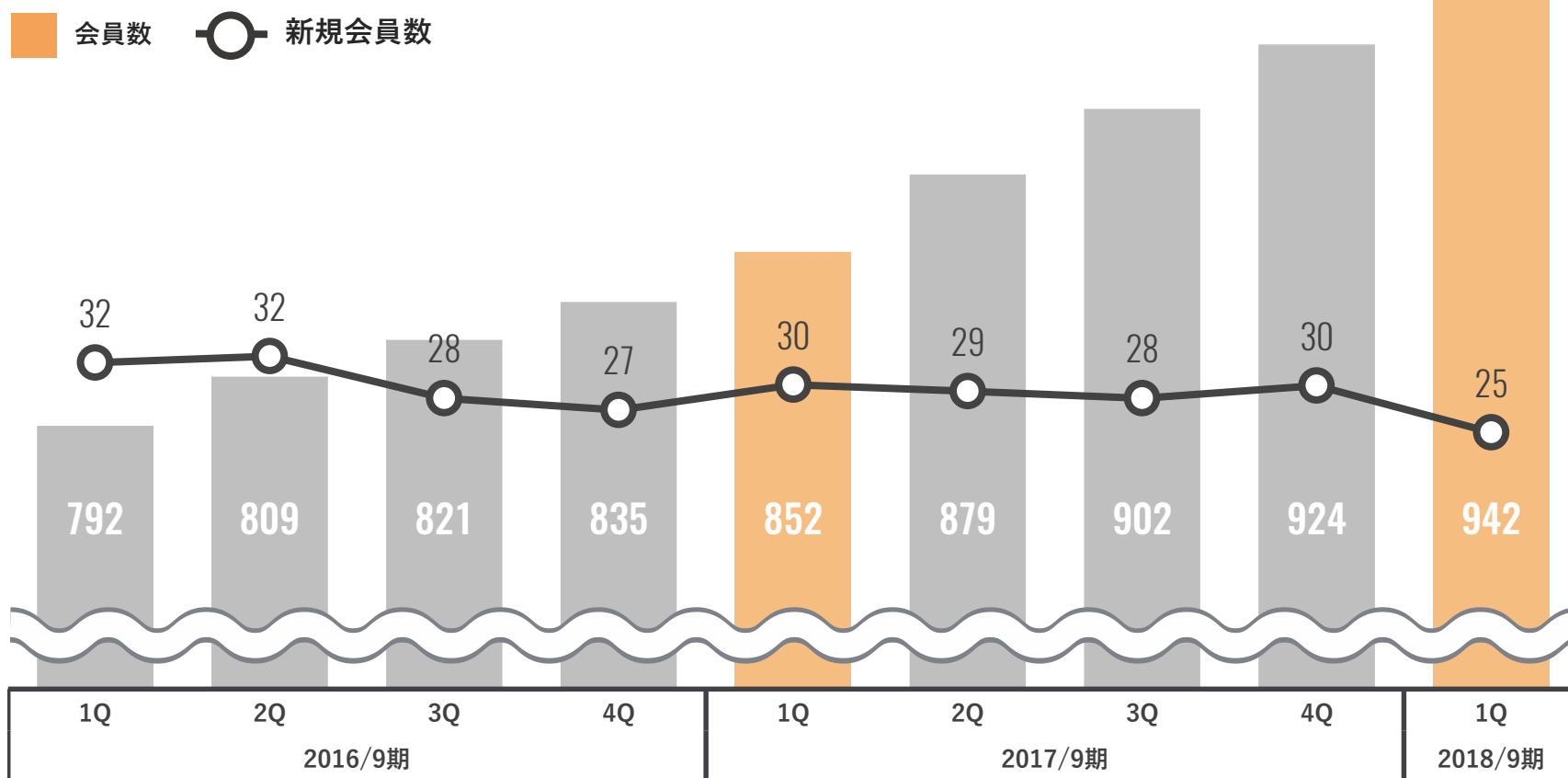
単位：百万円

営業利益 営業利益率



コツコツ型志向のユーザーだけでなく、ガッツリ型志向のユーザー獲得へのプロモーションも実施

単位：万人



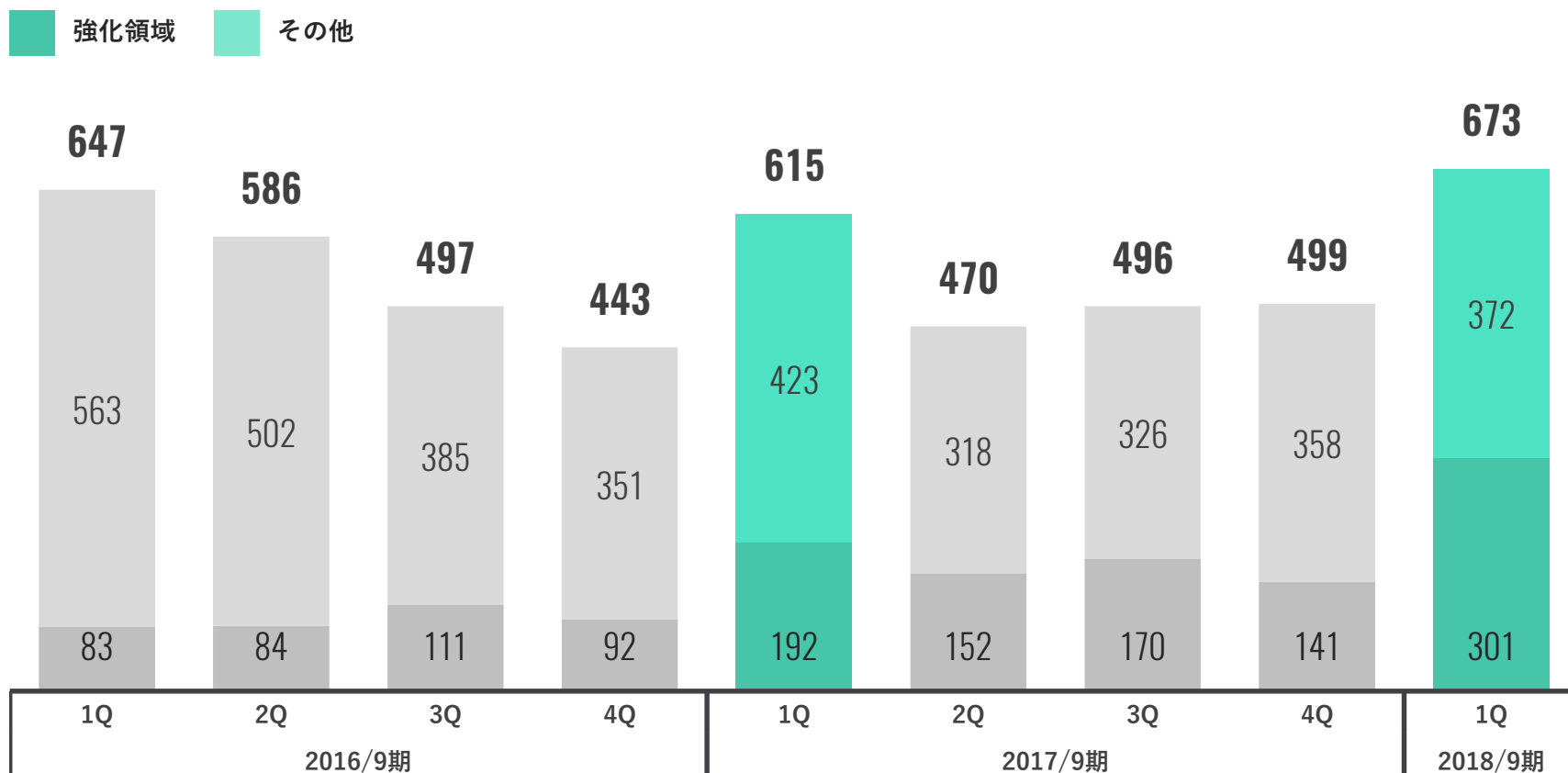
※各四半期末時点でのECナビ、PeX及びリサーチパネルの会員数の合算となります。

インキュベーション事業

INCUBATION

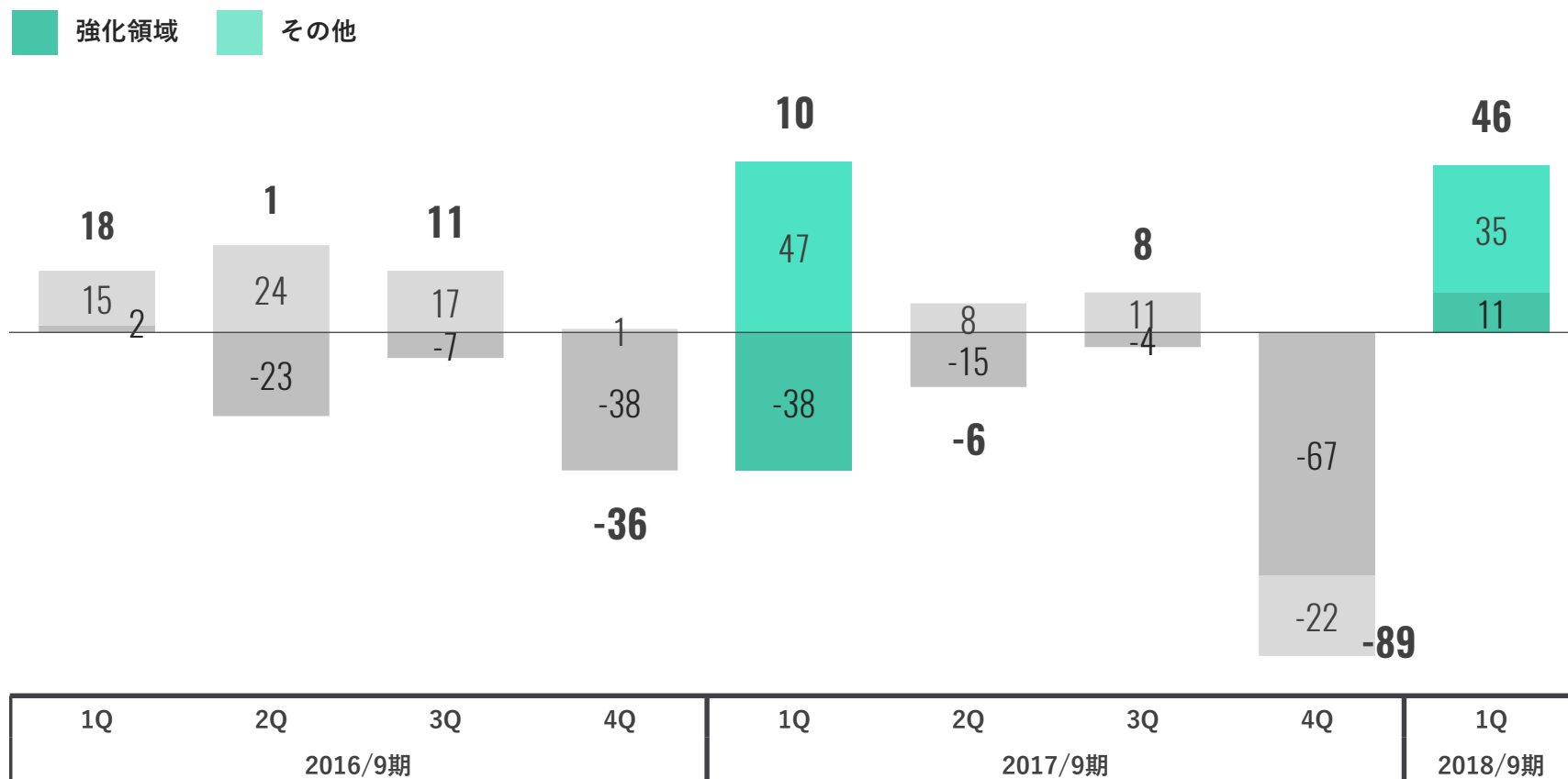
新卒採用の繁忙期ということもあり、新卒採用支援事業を行うサポーターズ（HR領域）を中心に順調に業績拡大

単位：百万円



EC領域やゲームパブリッシング事業において、プロモーションが第2四半期以降にズレ込むことにより前年同四半期では増益に

単位：百万円



カウンティア社と合併で、仮想通貨関連事業を展開する 新会社「カウンティアバンク」（出資比率39%）を設立



ねらい

これまでにVOYAGE GROUPが培ったインターネットマーケティングやサイト運営のノウハウ、FinTech領域での知見、そしてカウンティアの持つ高度な金融知識とブロックチェーンの技術を活かし、仮想通貨関連事業を展開してまいります。具体的には、夏には仮想通貨ウォレットサービスを開発し、提供することを目指します。

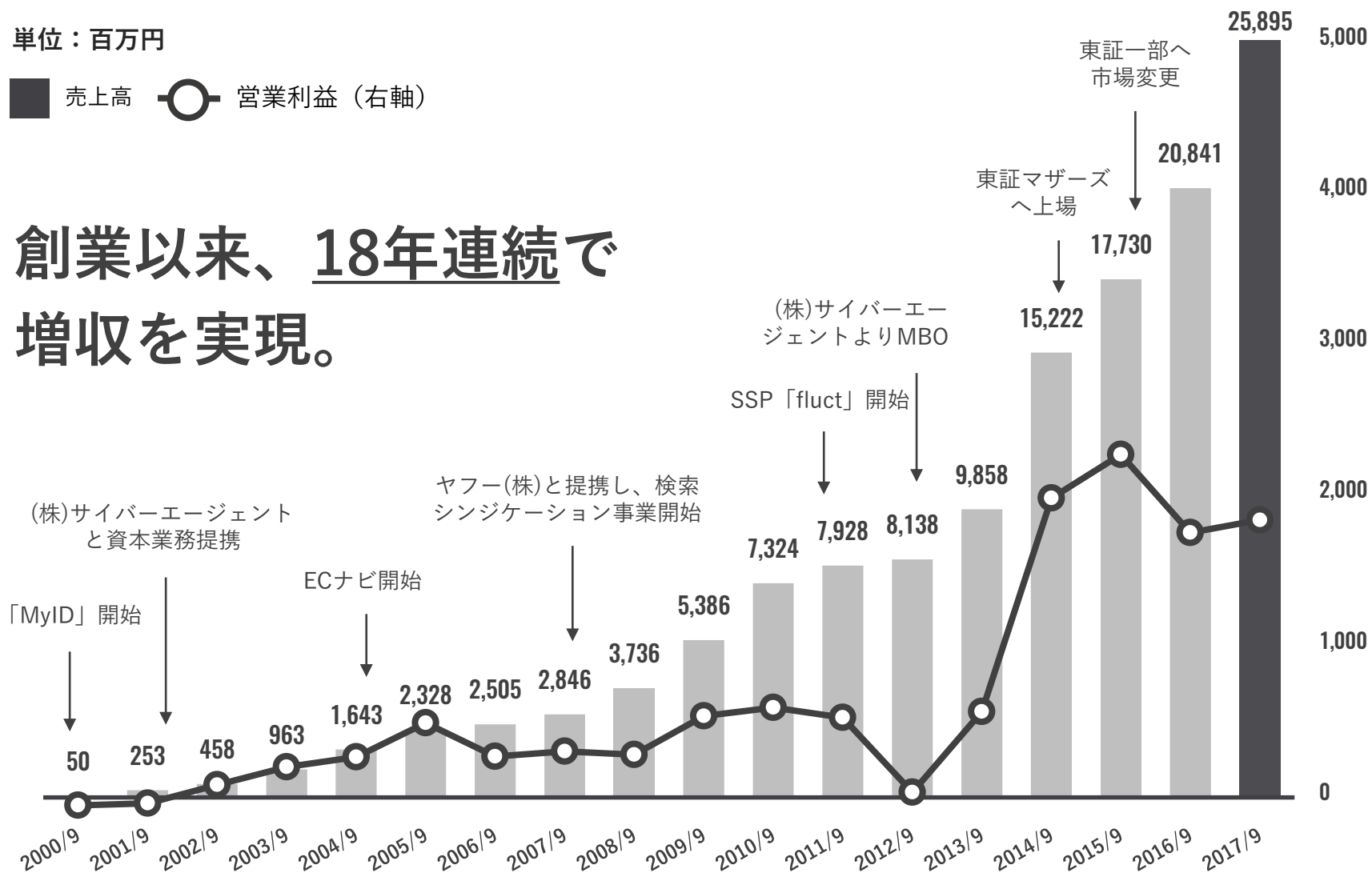
代表取締役	姥貝 賢次
取締役	宇佐美 進典 / 丹野 修一
設立	2017年11月22日
資本金	6,000万円（資本準備金含む）
所在地	東京都渋谷区渋谷1-4-8
事業内容	仮想通貨関連事業
URL	https://countirbank.jp/

01	2018年9月期第1四半期 連結決算の概要	P.02
02	通期連結業績予想と進捗	P.11
03	主要事業の概況	P.16
04	参考資料	P.31





単位：百万円

■ 売上高 ○ 営業利益（右軸）


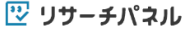
創業以来、18年連続で 増収を実現。



アドプラットフォーム事業







 <p>株式会社fluct 媒体社向けアドプラットフォーム「fluct」の運営</p> <p>持分比率 100%</p>	 <p>株式会社Zucks スマートフォン向けアドプラットフォーム「Zucks」の運営</p> <p>持分比率 100%</p>
 <p>株式会社CMerTV 動画アドプラットフォーム「CMerTV」の運営</p> <p>持分比率 59.5%</p>	 <p>株式会社intelish デジタルエージェンシー事業</p> <p>持分比率 99.9%</p>

ポイントメディア事業

 <p>株式会社VOYAGE MARKETING ポイント交換プラットフォーム「PeX」の運営、ポイントソリューション事業</p> <p>持分比率 100%</p>	 <p>株式会社リサーチパネル アンケートモニターサイト「リサーチパネル」の運営</p> <p>持分比率 60.0%</p>
--	--

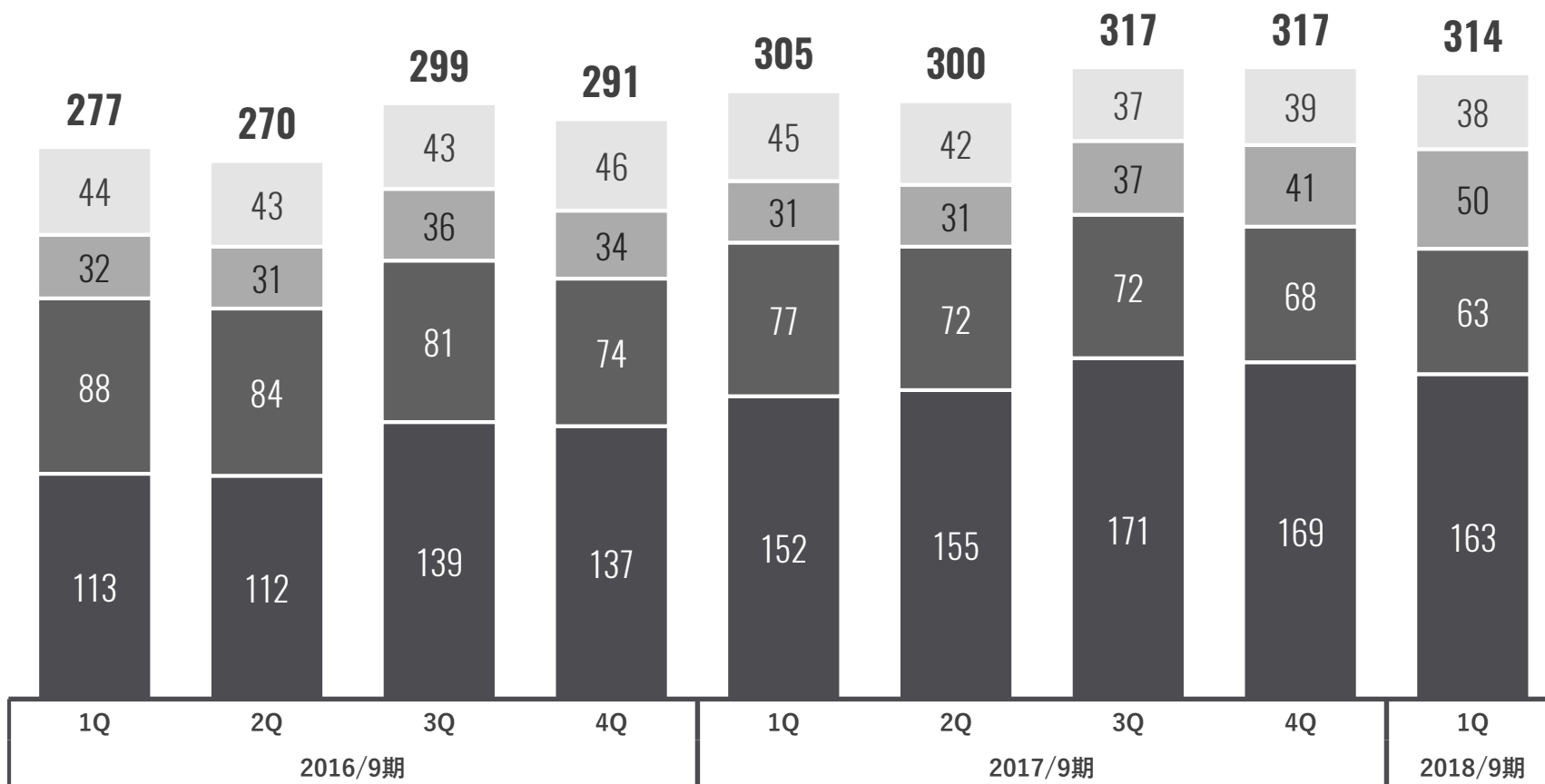
インキュベーション事業

 <p>株式会社サポーターズ 就職活動支援サービス「サポーターズ」の運営</p> <p>持分比率 100%</p>	 <p>株式会社ゼノシス 通販化粧品の企画・販売</p> <p>持分比率 100%</p>
 <p>株式会社VOYAGE NEXUS 家事支援サービスのネット販売事業</p> <p>持分比率 100%</p>	 <p>株式会社VOYAGE Lighthouse Studio メディア事業</p> <p>持分比率 100%</p>
 <p>株式会社VOYAGE SYNC GAMES ゲームパブリッシング事業</p> <p>持分比率 100%</p>	 <p>株式会社VOYAGE GAMES ゲームマーケティング事業</p> <p>持分比率 100%</p>
 <p>株式会社SYNC GAMES ゲーム運営・ローカライズ事業</p> <p>持分比率 99.8%</p>	 <p>株式会社VOYAGE VENTURES 未上場インターネット関連ベンチャー企業への事業拡大支援、企業価値向上支援、投資</p> <p>持分比率 100%</p>

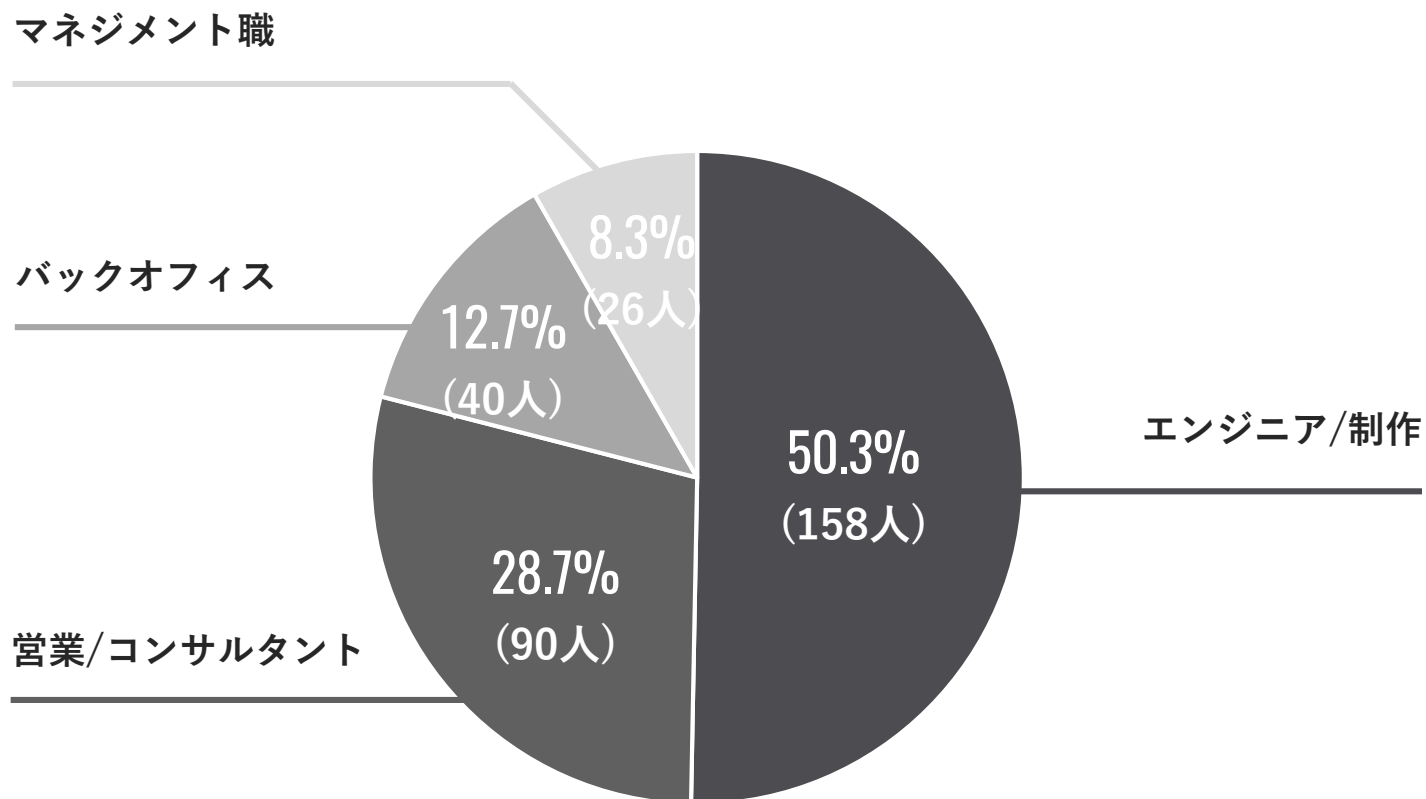
 <p>VENTENY PTE. LTD. 新興国における従業員向け レンディングサービス事業</p> <p>持分比率 36.9%</p>	 <p>Countir Bank カウンティアバンク株式会社 仮想通貨関連事業</p> <p>持分比率 39.0%</p>
 <p>株式会社ドゥ・ハウス クチコミプロモーションおよび 定性情報リサーチのサービス 提供</p> <p>持分比率 21.8%</p>	 <p>株式会社マーケティング アプリケーションズ オンラインマーケティング リサーチ事業</p> <p>持分比率 20.1%</p>
 <p>株式会社メディア・ヴァーグ 交通にまつわるコンテンツメ ディア「乗りものニュース」等 の運営</p> <p>持分比率 26.7%</p>	 <p>ログリー株式会社 ネイティブ広告プラットフォーム 「logly lift」の運営</p> <p>持分比率 22.6%</p>

参考資料：連結従業員数 四半期推移

単位：名

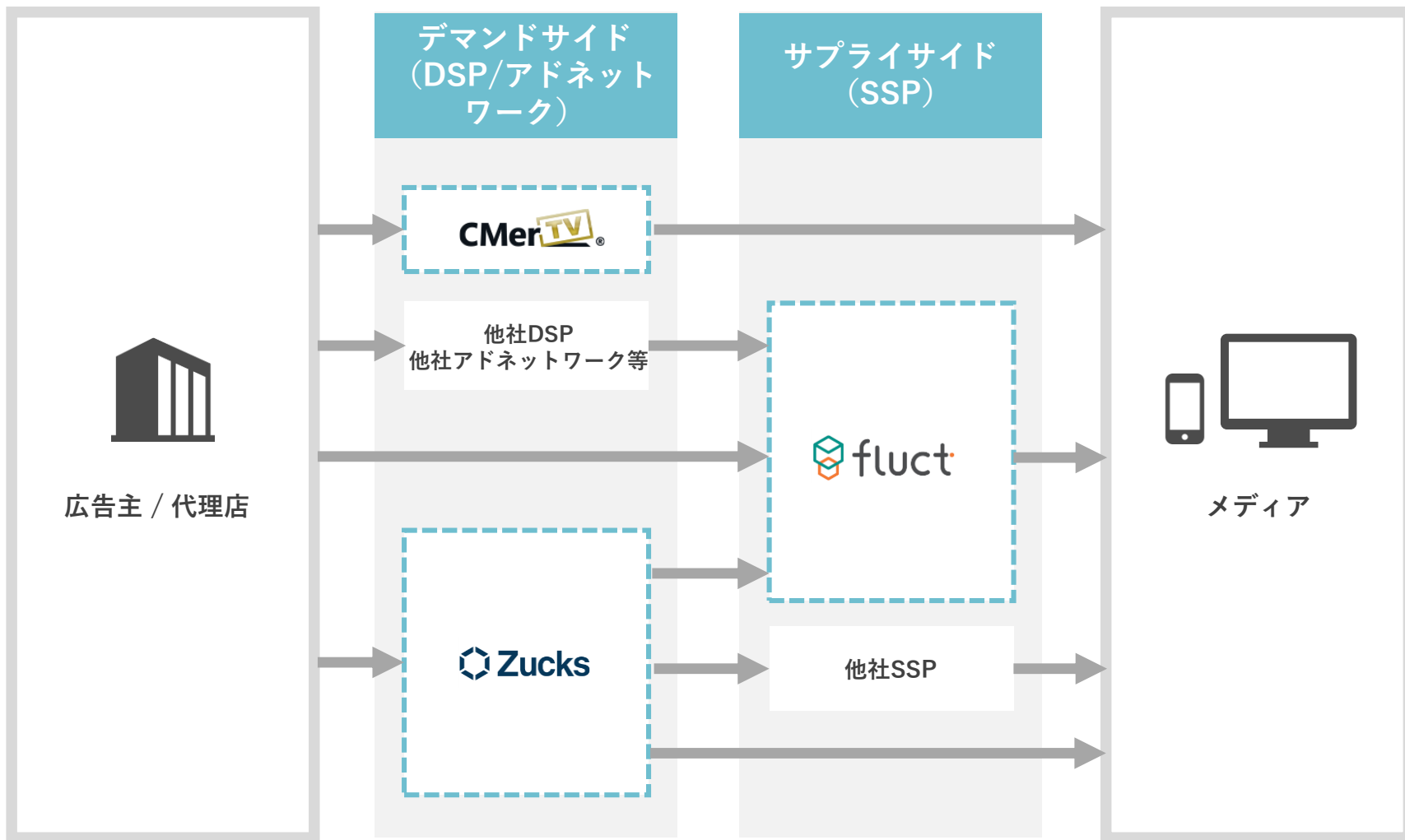


※従業員数は臨時雇用者を含まない数値



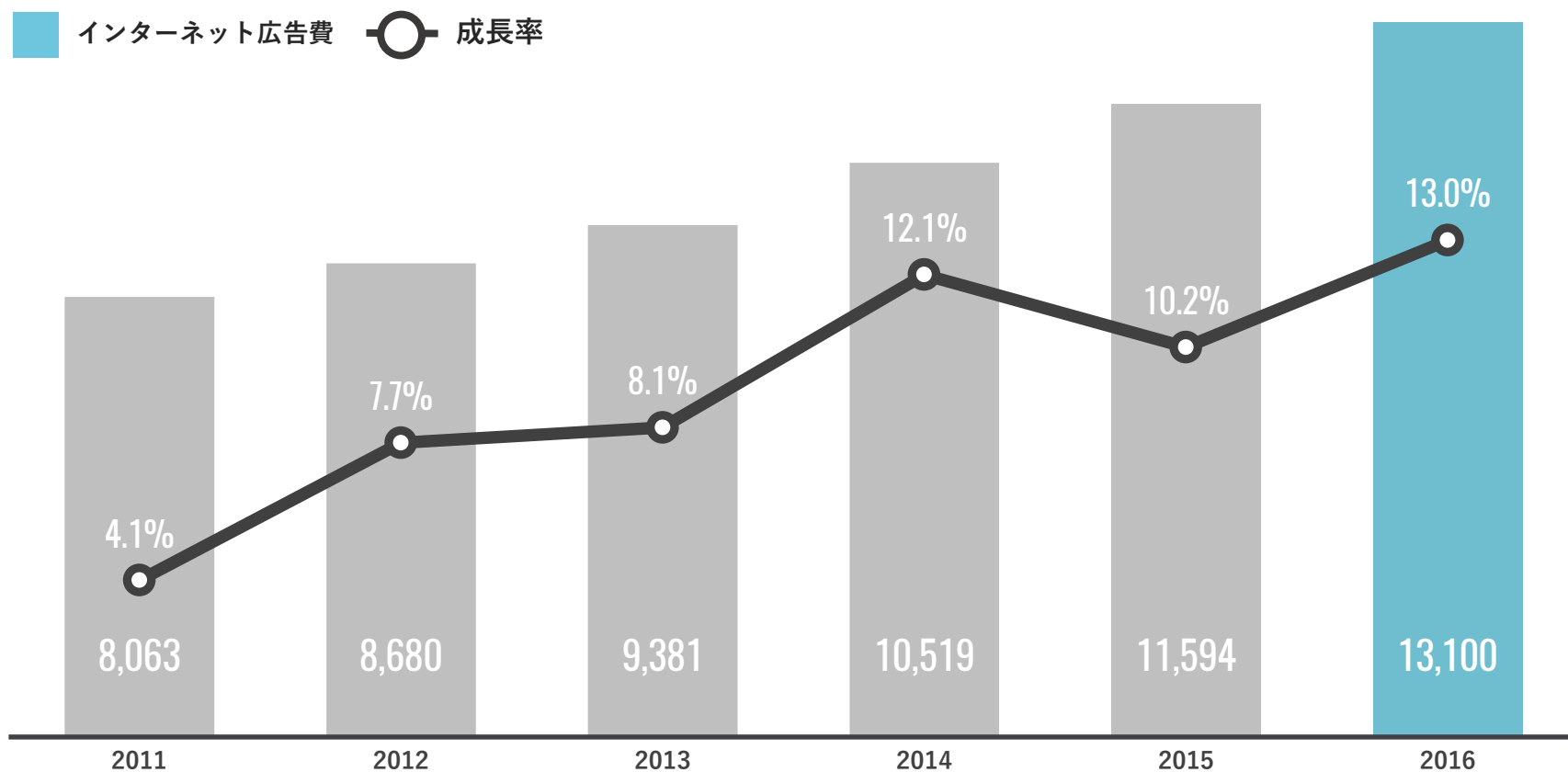
2017年12月末時点

→ 広告費の流れ



国内インターネット広告市場は順調に拡大。2016年は前年比13%増の1兆3,100億円に

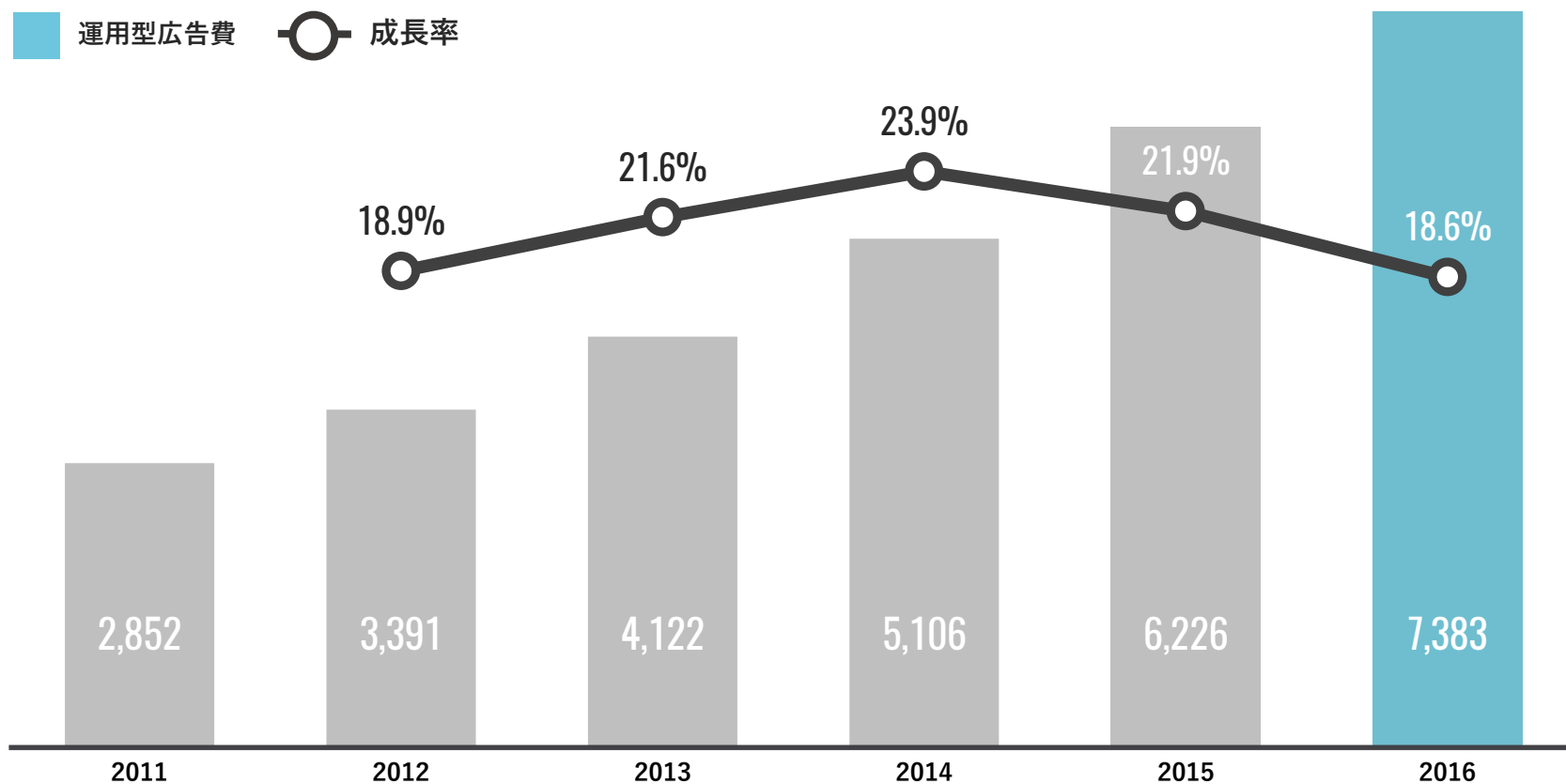
単位：億円



出所：株式会社電通「2016年 日本の広告費」より

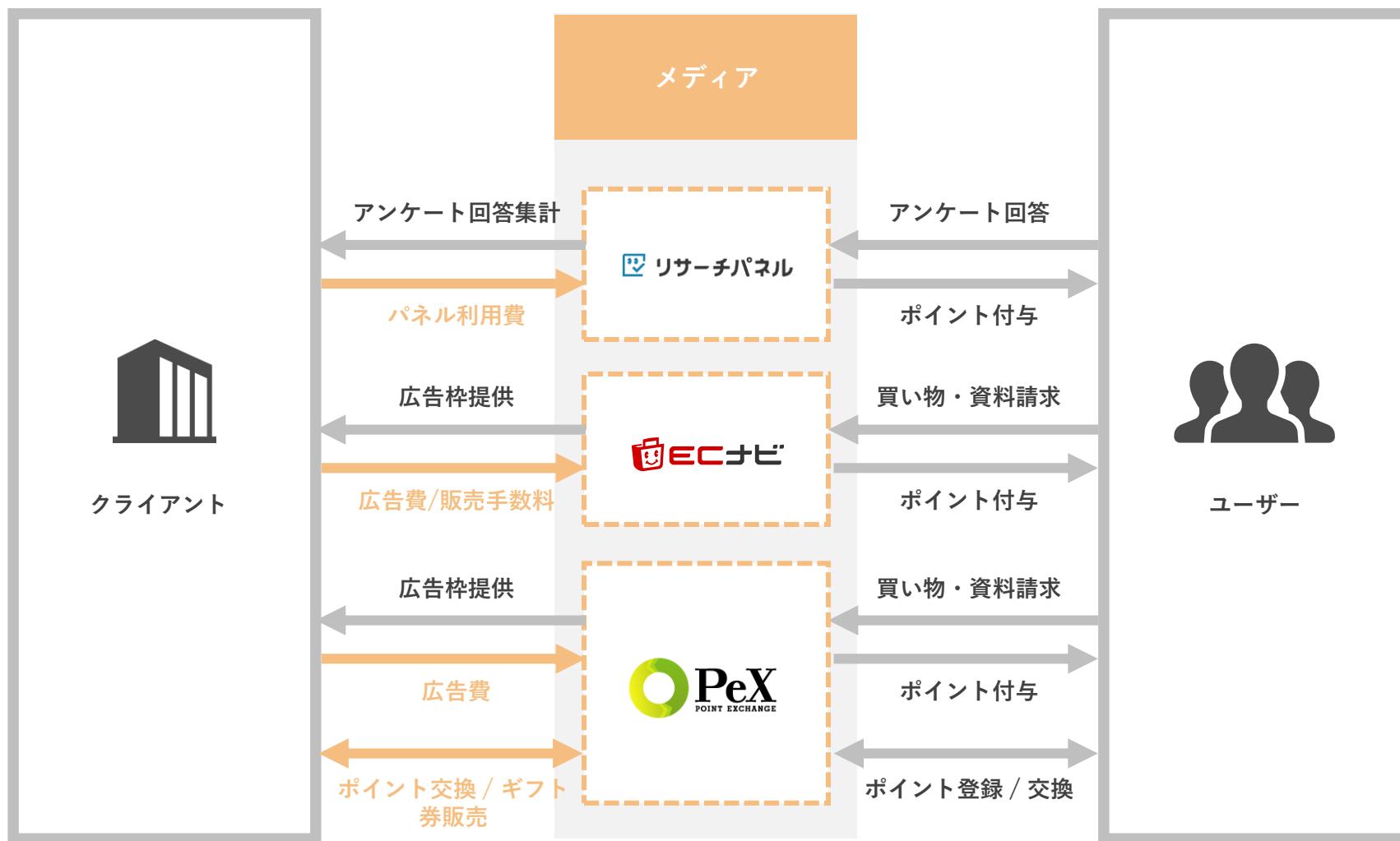
運用型広告費は、前年比18.6%増の7,383億円に拡大

単位：億円



出所：株式会社電通「2016年 日本の広告費」より

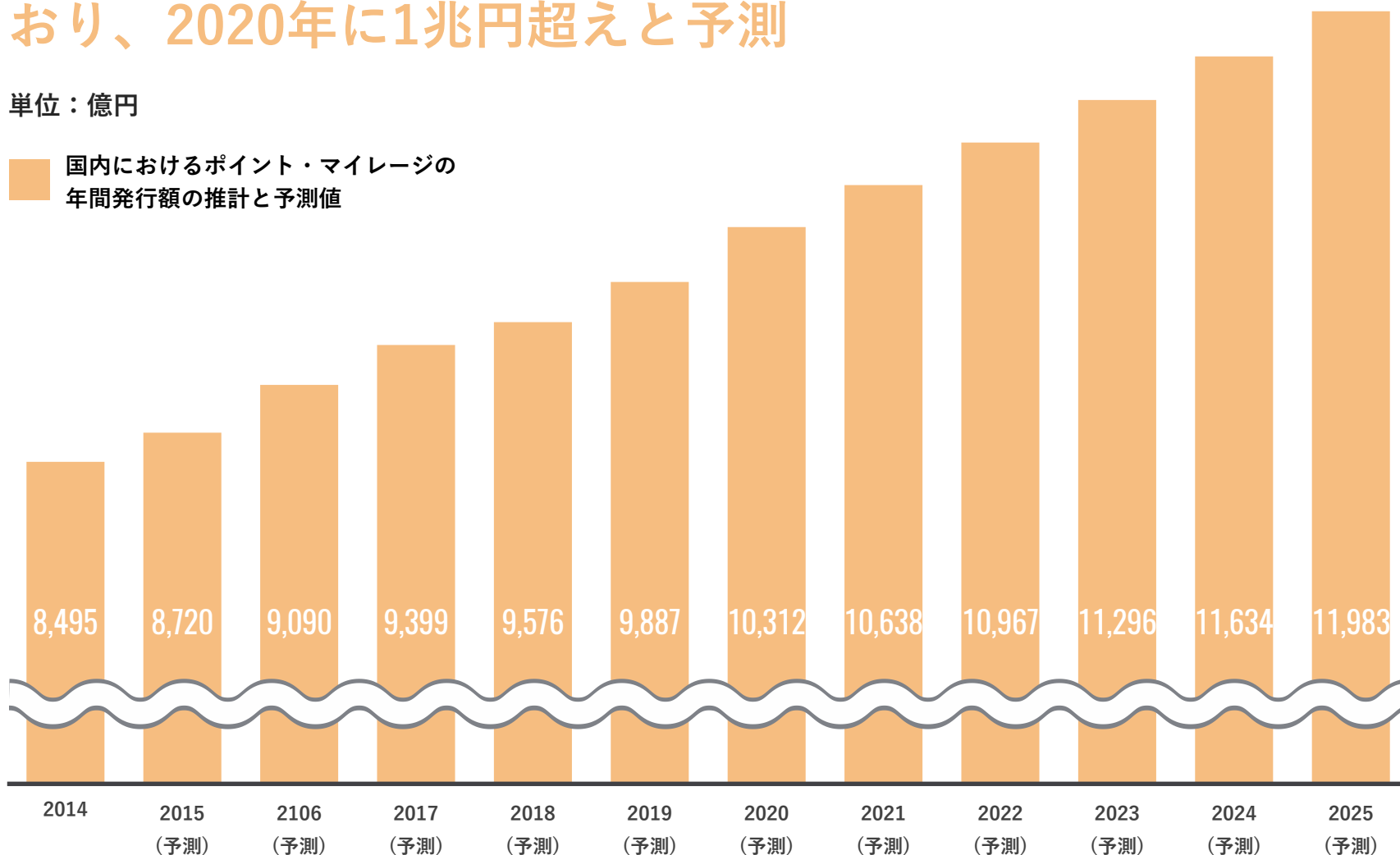
→ お金の流れ



日本のポイント・マイレージの発行額は順調に拡大しており、2020年に1兆円超えと予測

単位：億円

国内におけるポイント・マイレージの
年間発行額の推計と予測値



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。